

iSSP解析用CT減弱補正による正常データベース運用手続き

「日本核医学会平成29,30年度ワーキンググループ課題名：CT減弱補正を用いて構築した¹²³I-IMP脳血流SPECT統計解析用正常データベースの多施設検討：認知症疾患による検証（研究代表者：藤田医科大学 外山 宏）」

上記ワーキンググループ活動にて作成された、“正常データベース（以下CTAC-NDB）”を使用するに当たって注意事項およびインストール方法の説明

< 注意事項 >

* 他施設への提供は御遠慮下さい。

* 藤田からの直接配布施設のみでの使用に限ります。

- ご使用にあたり、臨床における ^{123}I -IMP脳血流SPECT収集条件並びに再構成条件を大きく変更する必要はありません。ただし散乱補正(TEW法同等)は必須となります。
- ^{123}I -IMP脳血流SPECT臨床収集条件によるSPECT分解能を算出する必要があります。その際には、お使いの装置、コリメーター、再構成条件（再構成方法、フィルター種類、カットオフ値）は臨床条件で行ってください。散乱補正(TEW法同等)は必須です。
- iSSP解析に使用するNDBの種類が、自施設のSPECT分解能により異なります。別途表「CTAC-NDB適合表」を御参照下さい。

< 注意事項 >

CTAC-NBDの構成内容

- n=31 (男性 12 女性 19)
- 年齢幅 64-82歳
- 平均年齢 \pm SD : 71.3 \pm 5.17

正常ボランティア選定基準

- UPDRS Part IIIの合計スコアが0 (60歳以下)、もしくは5未満 (61歳以上)
- BDI (ベックうつ病調査票) 10点未満、もしくはBDI-II 12点未満
- MoCA-J 26点以上
- MRIにて正常 (60歳以下)、Fazekas分類にて白質病変Grade 3未満 (61歳以上)

「CTAC-NDB適合表」

検査使用装置SPECT分解能	使用NDB
12.9mm以下	CTAC0.588_NDB2019
13.0mm～13.9mm	CTAC0.529_NDB2019
14.0mm～14.9mm	CTAC0.471_NDB2019
15.0mm以上	CTAC0.412_NDB2019

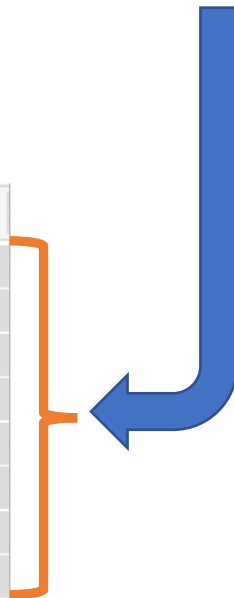
<インストール手順>

- CTAC-NDBを御希望の施設は、まずはメールにてお問い合わせください。

藤田医科大学 外山 宏 e-mail: htoyama@fujita-hu.ac.jp

- その後、メール便にてCTAC-NDBを送信いたします。
- iSSP解析を行なっているPC本体に、お送りしたCTAC-NDBファイルを**全てインストール**して下さい。

名前	変更日	サイズ	種類
▶ フォルダ CTAC0.412_NDB2019	今日 18:51	--	フォルダ
▶ フォルダ CTAC0.471_NDB2019	今日 18:51	--	フォルダ
▶ フォルダ CTAC0.529_NDB2019	今日 18:51	--	フォルダ
▶ フォルダ CTAC0.588_NDB2019	今日 18:51	--	フォルダ
📄 CTAC0.412_NDB2019.def	2019年11月27日 18:48	5 KB	書類
📄 CTAC0.471_NDB2019.def	2019年11月27日 18:50	5 KB	書類
📄 CTAC0.529_NDB2019.def	2019年11月27日 18:51	5 KB	書類
📄 CTAC0.588_NDB2019.def	2019年11月27日 18:53	5 KB	書類



<インストール手順>

- インストール場所

“AZE FALCONをご使用の施設様”

Cドライブ⇒Program Files⇒『NuclearMedicine』⇒『NDB』

“medi FALCONをご使用の施設様”

Cドライブ⇒『NMP-MDS』⇒『NDB』

ご不明な点がございましたら、下記メールアドレスに御問い合わせください。

藤田医科大学病院 放射線部 核医学 主任 宇野正樹

e-mail: unomasa@fujita-hu.ac.jp